

2020年3月期決算説明資料

株式会社島精機製作所

2020年5月13日

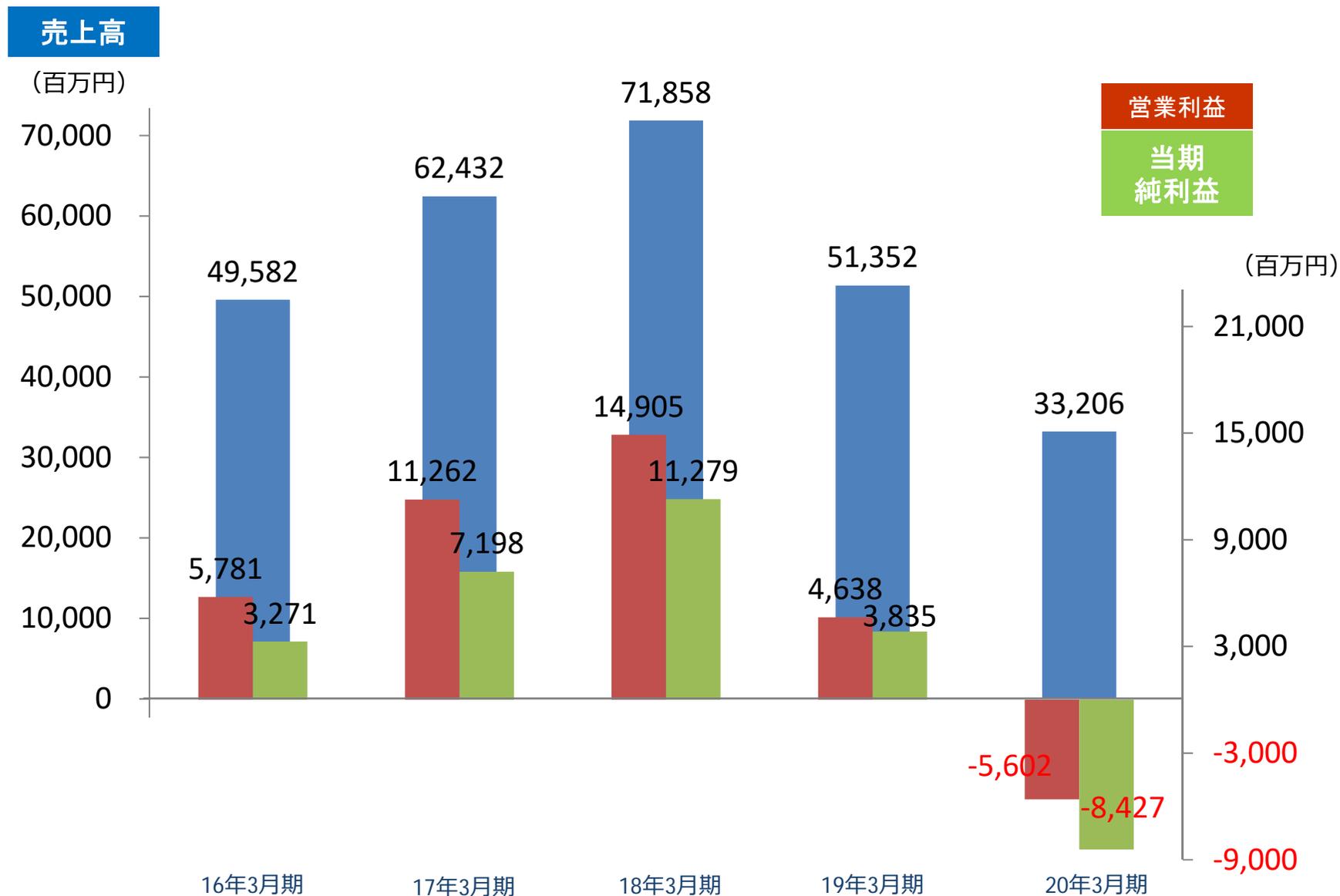
2020年3月期決算概要

(百万円)

	2020年3月期	前期比(%)	2019年3月期
売上高	33,206	△35.3	51,352
営業利益	△5,602	—	4,638
経常利益	△5,583	—	4,991
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△8,427	—	3,835

為替レート(円)	2020年3月期	2019年3月期	
ドル・円	108.83	110.99	期末為替レート(上段)
	108.34	110.83	平均売上レート(下段)
ユーロ・円	119.55	124.56	
	120.66	128.87	

売上高・利益の5か年推移〔連結〕



ハイライト②

事業概況

【横編機】

アジア

- ・近年拡大を続けてきた中国市場でのホールゲーム横編機の販売が低迷しました。
- ・ボリュームゾーンの生産拠点であるバングラデシュ、ベトナム等でも米中貿易摩擦の関係から設備投資の低迷が続きました。

中東

トルコでは第3四半期から第4四半期にかけて欧州アパレル向けの生産量が拡大し、設備投資が回復傾向となりましたが、通期では前期の売上高に及びませんでした。

欧州、米国、日本

総じてコンピュータ横編機の売上高は前期に比べて減少しました。

上記の状況に加え、第4四半期に新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界各地で工場の操業停止や営業活動の中断を余儀なくされ、販売が低調となりました。

ハイライト②

事業概況

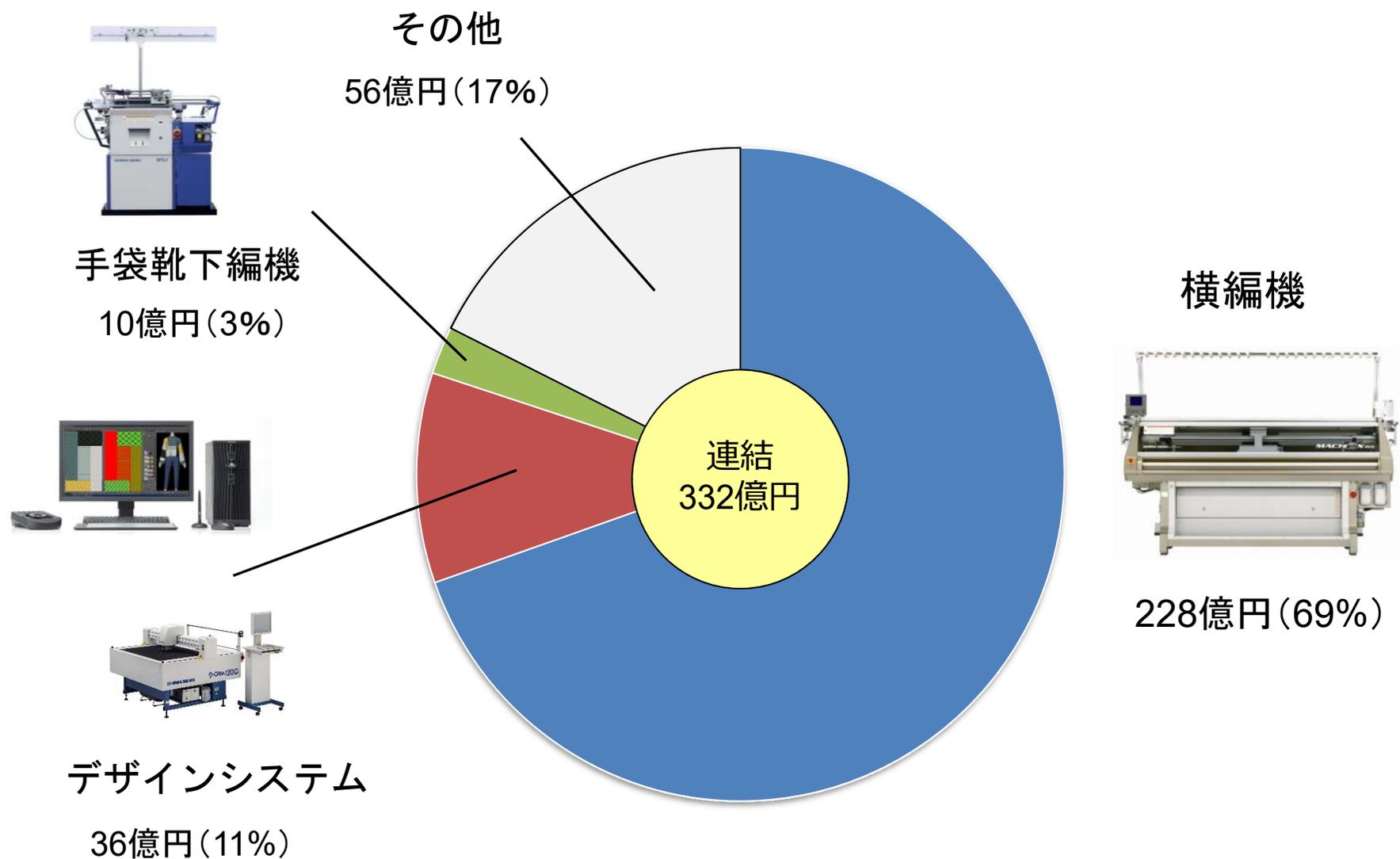
【デザインシステム】

- ・ アパレルデザインシステムの新機種「SDS-ONE APEX4」を投入しましたが、コンピュータ横編機の販売不振に連動して売上高は減少しました。
- ・ 自動裁断機「P-CAM」についても、国内、海外市場ともにテキスタイル分野での需要の落ち込みにより販売が低調となりました。

利益面

- ・ 売上高の大幅な減少に加えて生産調整に伴い売上総利益率が悪化
(前期比△10.1ポイントの35.0%) となりました。
- ・ 販管費及び一般管理費において、人件費抑制等に取り組んだものの(前期比約△13億円)、売上高の大幅な減少にともなう営業利益の減少を補えませんでした。
- ・ 営業外費用においても為替差損約8億円を計上しました。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純損失は投資有価証券評価損(約9億円)等の特別損失の計上、繰延税金資産の取り崩しなどで大幅な減益となりました。

事業セグメント別売上高構成〔連結〕



事業セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	売上高	前年比(%)	営業利益	前年比(%)
横編機	22,877	△41.0	348	△96.0
デザインシステム	3,611	△17.6	307	△67.4
手袋編機	1,054	△32.2	△48	—
その他	5,663	△14.3	317	△68.2
消去			△6,528	
合計	33,206	△35.3	△5,602	—

事業セグメント (横編機事業)

製品別カテゴリー



ホールガーメント横編機

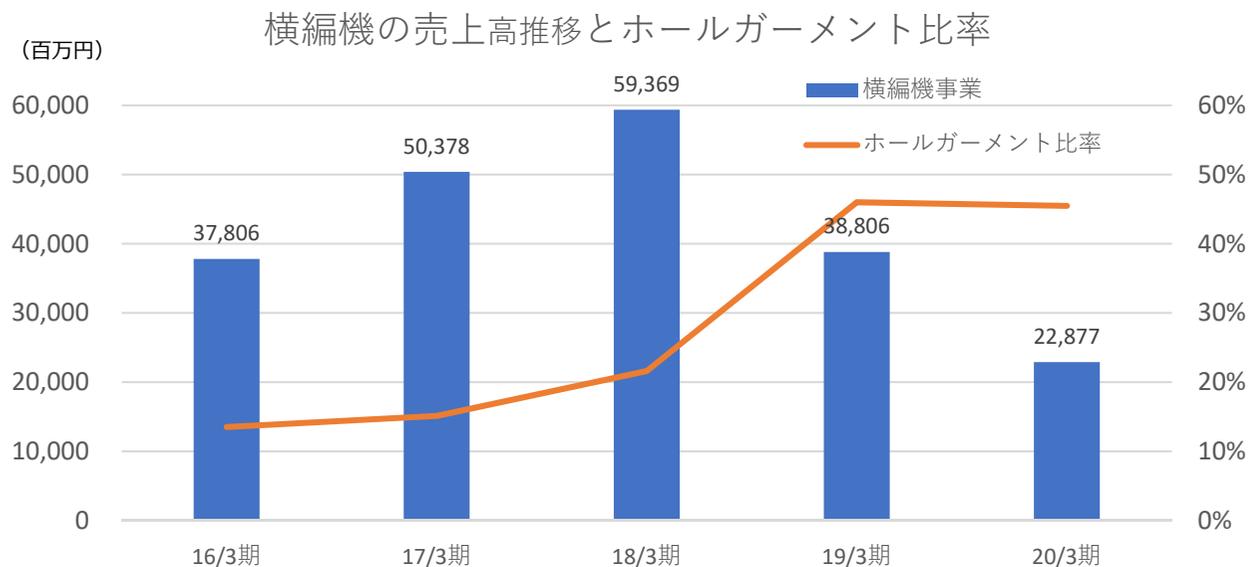
- ・一着丸ごと立体的に編み上げる「MACH2XS」「SWG-N2」
- ・環境に配慮したモノづくりを実現
- ・ファッション小物・マスク製作等、ミニタイプも充実



コンピュータ横編機

- ・パーツ毎に生地を編み、縫製・リンクング作業で完成させる
- ・編地に付加価値を高める「SRY」「N.SIR」「N.SVR SP」
- ・アジア等ボリュームゾーンの生産に用いられる「N.SVR」「N.SSR」

ホールガーメント比率が拡大



事業セグメント（デザインシステム事業）

製品別カテゴリー



3Dデザインシステム「SDS-ONE APEX4」

- ・編み機のパターンCADに加えて、横編み、織物、プリント、丸編みなどのテキスタイルデザインやシミュレーションに特化したソフトウェアを搭載

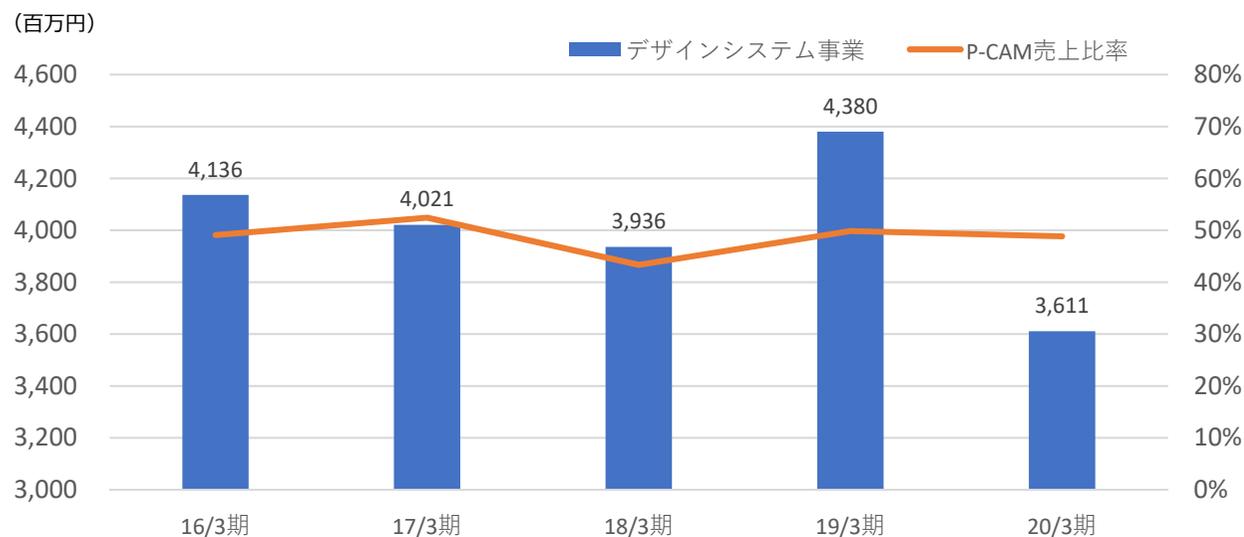


自動裁断機「P-CAM」

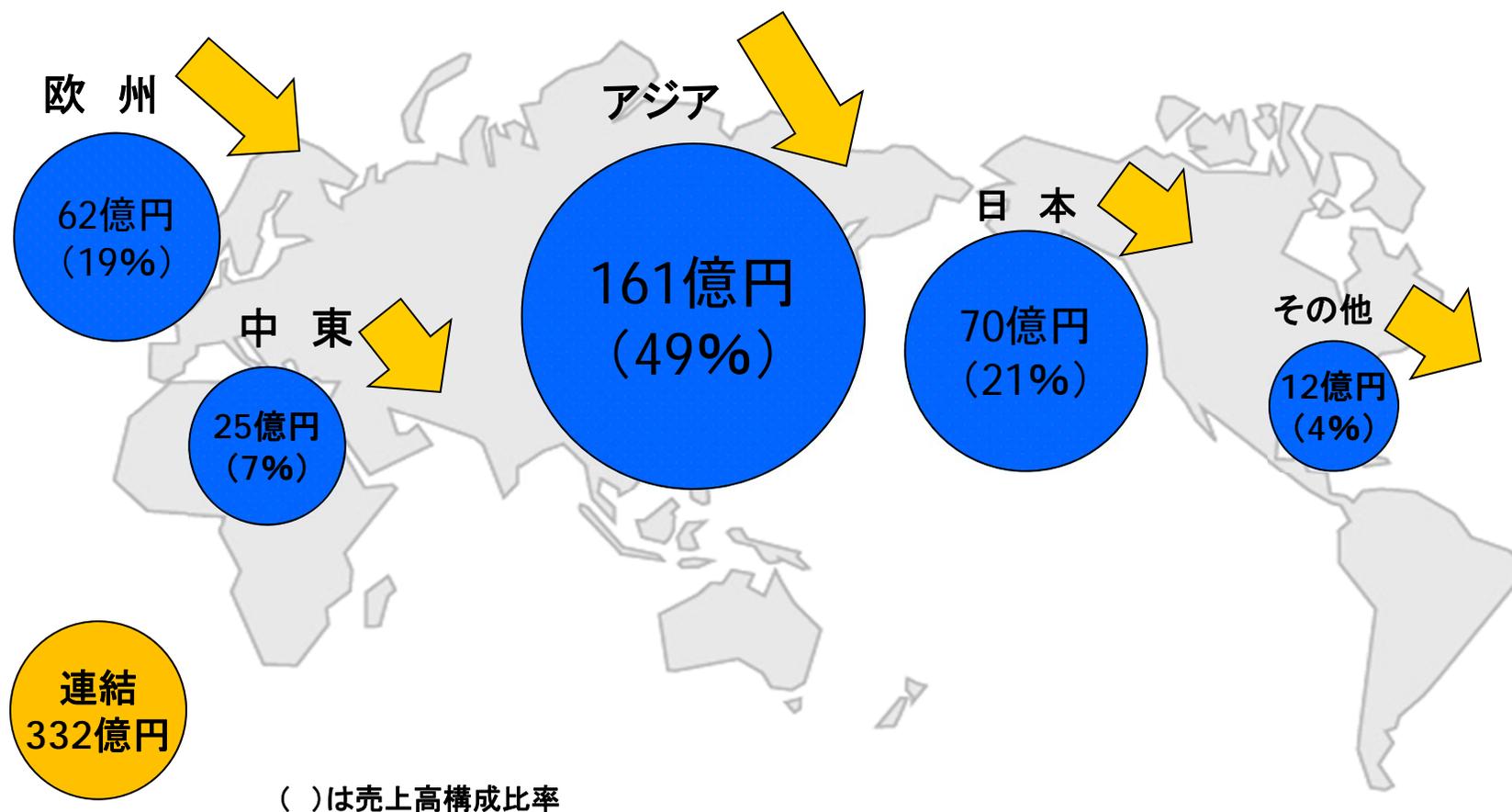
- ・自動裁断機のみならず、生地裁断の前後工程の省人化を実現するため、延反からラベリング、ピックアップ装置を提供。「Shima Cutting Solutions」としてアパレル業界、自動車、産業資材、など様々な業界へ浸透を図っている

P-CAMの売上高比率は50%前後で推移

デザインシステム事業の売上高推移と自動裁断機の比率



地域別売上高構成〔連結〕



地域別売上高〔連結〕

(百万円)		2020年3月期	2019年3月期	前期比 (%)
日	本	7,003	8,603	△18.6
欧	州	6,281	8,959	△29.9
ア	ジ	16,180	28,810	<u>△43.8</u>
中	東	2,535	3,227	<u>△21.5</u>
その他(海外)		1,204	1,751	△31.2
合	計	33,206	51,352	△35.3

※欧州の主要子会社であるSHIMASEIKI ITALIAは前期(2019年3月期)において2018年1月1日から2019年3月31日までの15か月を連結しています。2018年1月1日から2018年3月31日までの売上高15億79百万円が含まれています。

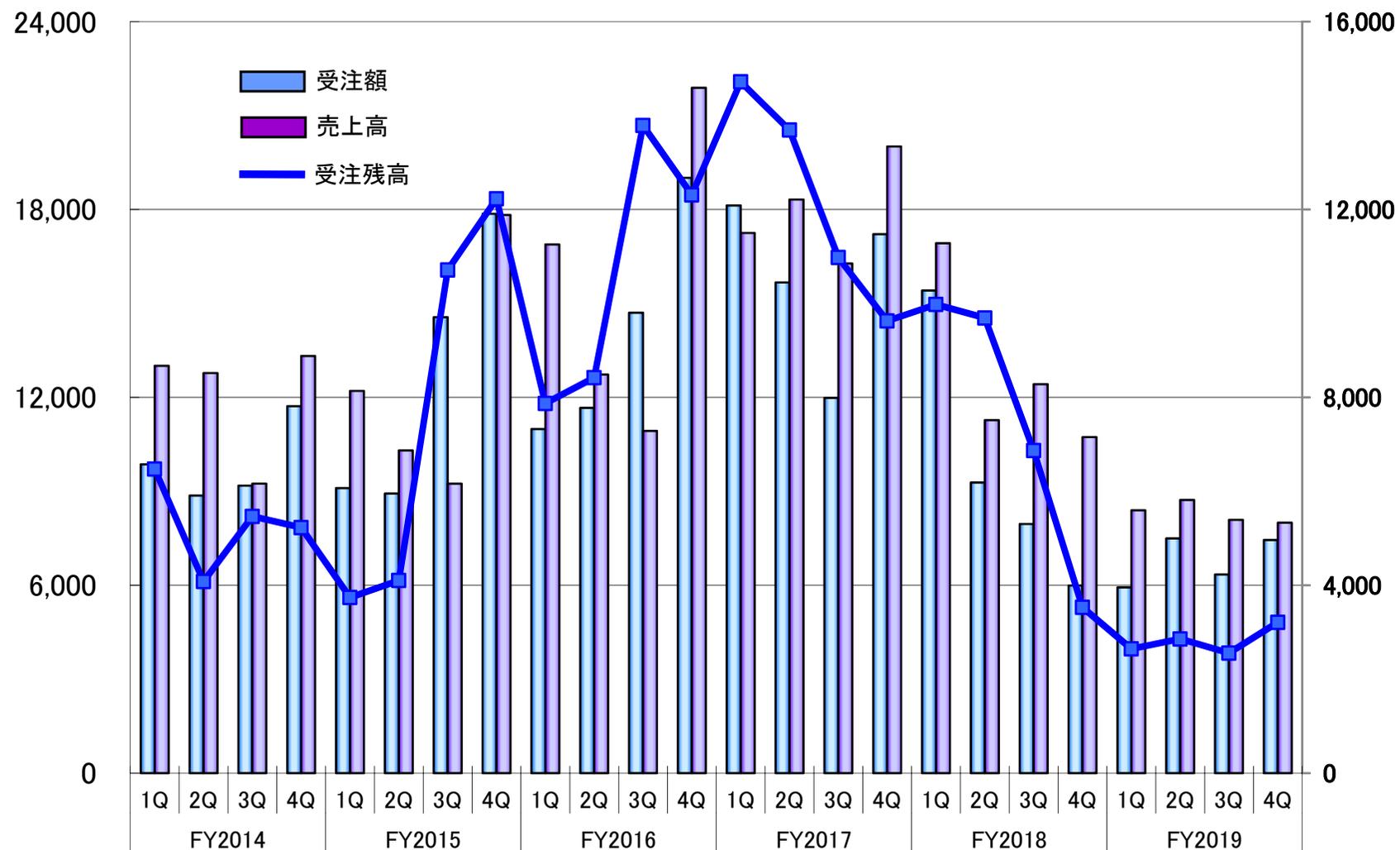
※当期(2020年3月期)は欧米の子会社SHIMASEIKI U.S.A、SHIMASEIKI EUROPE LTD、SHIMASEIKI SPAIN、S.A.Uの3社において2019年1月1日から2020年3月31日までの15か月間を連結しています。2019年1月1日から2019年3月31日までの売上高4億32百万円が含まれています。

下線部を修正しました(5/18)

受注・売上・受注残四半期推移〔連結〕

受注・売上高(百万円)

受注残高(百万円)



四半期別業績推移〔連結〕

(百万円)	2018/3				2019/3				2020/3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	17,251	18,318	16,275	20,013	16,923	11,273	12,423	10,732	8,393	8,724	8,089	7,998
営業利益	3,747	4,313	3,194	3,650	3,307	1,036	1,257	△962	△872	△1,838	△1,145	△1,746
経常利益	4,181	4,702	3,516	3,125	3,670	957	1,215	△852	△944	△1,954	△963	△1,721
親会社株主に帰属する当期純利益	3,048	3,480	2,422	2,328	2,571	740	849	△327	△689	△1,372	△852	△5,513

(百万円)	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
受注高	18,130	15,670	11,982	17,211	15,412	9,280	7,958	5,994	5,934	7,495	6,345	7,447
受注残高	14,718	13,693	10,979	9,627	9,979	9,691	6,869	3,531	2,647	2,858	2,558	3,211

貸借対照表〔連結〕

現金及び預金	当期末21,641百万円(前期末26,920百万円)で、前期末より5,279百万円減少
売掛債権	当期末51,248百万円(前期末56,784百万円)で、前期末より5,535百万円減少
たな卸資産	当期末18,410百万円(前期末19,288百万円)で、前期末より877百万円減少
株主資本比率	82.6%(前期末83.5%)

(百万円)	2020年3月期	2019年3月期	増減
流動資産	89,470	102,854	△13,383
固定資産	41,224	42,292	△1,067
（有形固定資産）	26,964	25,579	1,384
（無形固定資産）	2,931	3,352	△420
（投資その他の資産）	11,328	13,361	△2,032
資産合計	130,695	145,146	△14,451
流動負債	17,292	18,962	△1,669
固定負債	5,452	5,017	435
負債合計	22,744	23,979	△1,234
株主資本	115,761	128,424	△12,663
その他の包括利益累計額	△7,849	△7,292	△557
新株予約権	25	19	5
非支配株主持分	14	14	△0
純資産合計	107,950	121,166	△13,216
負債及び純資産合計	130,695	145,146	△14,451

キャッシュ・フロー計算書〔連結〕

営業活動によるキャッシュ・フロー 税引き前当期純損失を計上しましたが、売上債権の減少、減価償却費の計上により37億76百万円の資金の増加

投資活動によるキャッシュ・フロー 有形固定資産、投資有価証券の取得などにより30億85百万円の資金減少

財務活動によるキャッシュ・フロー 自己株式の取得、配当金の支払いによる支出で55億55百万円の資金減少

現金及び現金同等物の期末残高 前期末に比べ52億66百万円減少しました。

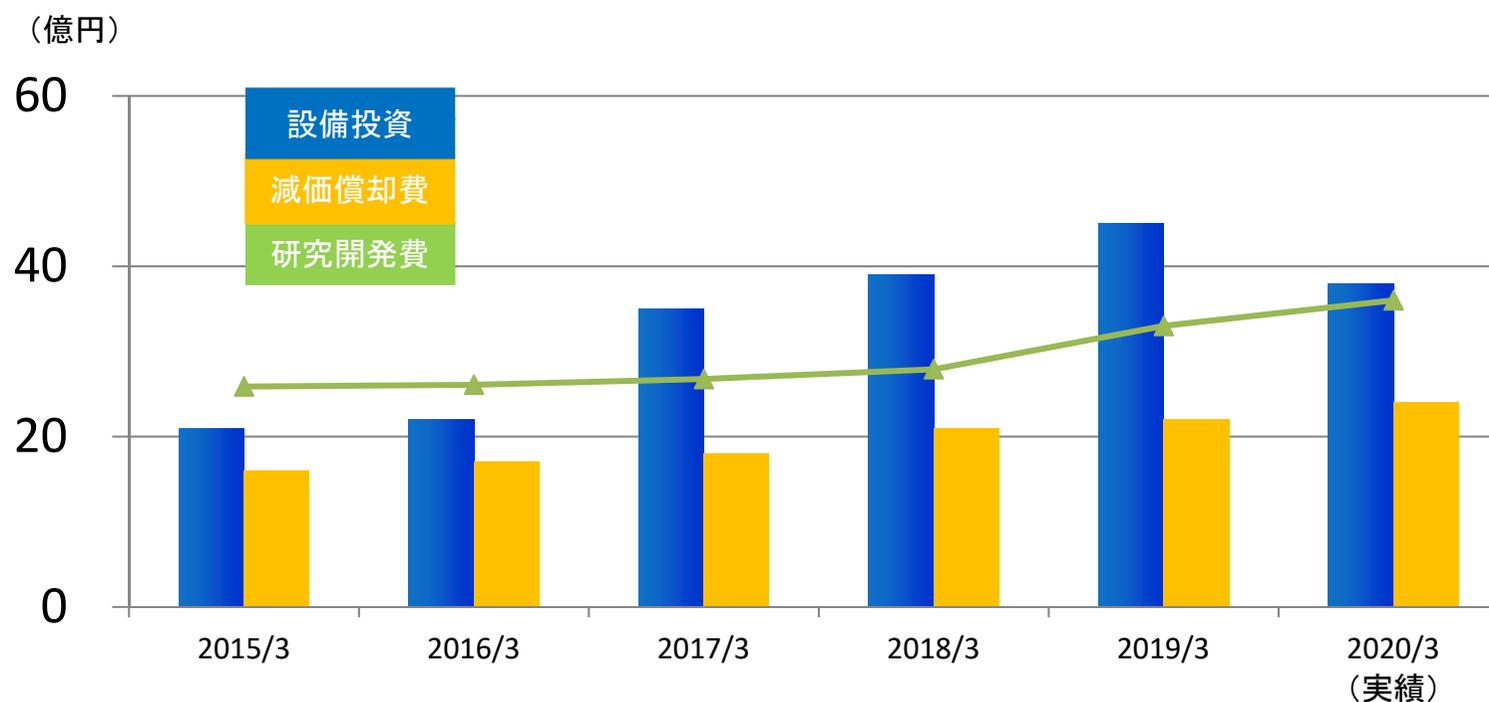
(百万円)

項 目	2020年3月期 期末	2019年3月期 期末
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,776	9,935
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,085	△872
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,555	△6,540
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401	103
現金及び現金同等物の増加額(△減少)	△5,266	2,625
現金及び現金同等物の期首残高	26,849	24,223
現金及び現金同等物の期末残高	21,582	26,849

研究開発費・設備投資等の推移〔連結〕

20年3月期（実績） 設備投資38億円（リース資産9億円含む）
減価償却費24億円、研究開発費36億円

主な投資案件：本社工場に工場建設（次ページ参照）、本社工場隣接地の土地取得



2020年3月期 設備投資実績

本社工場に工場棟を建設

2019年12月竣工、2020年3月第2期工事
旧工場の更新と同時にホールゲーム横編機の生産能力増強
を目的とする



本社工場

株主還元

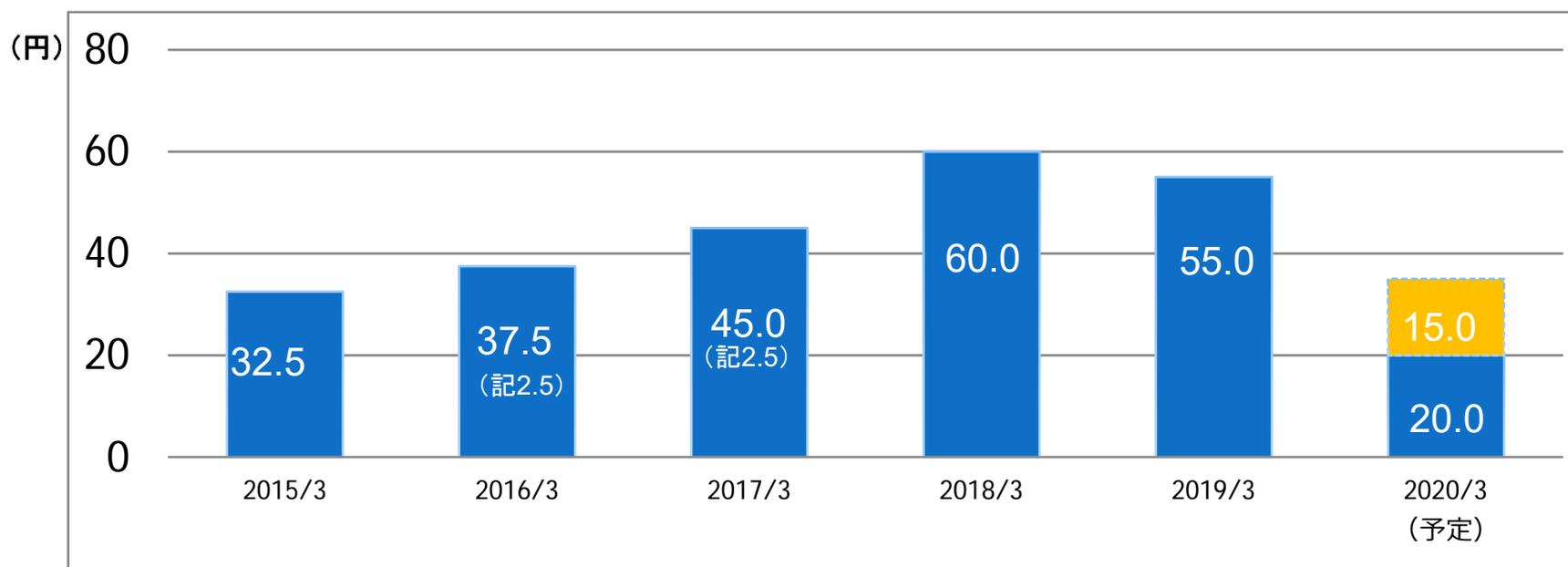
2020年3月期実績

自己株式100万株を取得、自己株式80万株(消却前の発行済株式総数2.19%)を消却

発行済み株式数: 35,800,000株(3月末)

自己株式数: 1,288,926株(3.6%)

2020年3月期(予定) 中間配当金20円を実施、期末配当金15円



2021年3月期業績計画〔連結〕について

- ・ **新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大しており、2021年3月期の業績計画は現時点では「未定」とする。**
- ・ **コロナショック後は、アパレル業界に大きな変化が起こると考える。現在、アパレル業界が抱える課題（次ページ参照）に対し、ホールゲームをはじめ、ソリューション提案を強化する。**
- ・ **新型コロナウイルス感染拡大防止、人件費など固定費削減に努める。**
 - ・ **5月1日から6月12日までの8日間、一時休業日を設ける。**
 - ・ **取締役報酬、執行役員報酬の減額を継続**（2019年7月31日公表）
代表取締役は役員報酬月額の30%、役付取締役は同20%、取締役は同15%を減額、
監査役は報酬月額の10%を自主返上
- ・ **必要投資は実行するが、不要不急の投資は次年度以降とする。**
- ・ **配当は業績計画公表時に発表予定。現時点では「未定」とする。**

デジタル化とサステナビリティ

アパレル業界のモノづくりの流れとその課題



①リードタイムの短縮(大量生産・消費モデルからの脱却)

②Eコマース・オムニチャネル

③個性化の時代への対応(カスタマイゼーション)

④サステイナブルなサプライチェーンへの対応(環境負荷低減・廃棄ロスの削減)

シマセイキからのソリューション提案「デジタル化とサステナビリティ」

- ・ ホールガーメント、デザインシステムの活用による過剰生産や在庫量の抑制
- ・ 個性化の時代(カスタマイゼーション)への対応
- ・ バーチャルサンプルのEコマースへの応用、需要予測に活用(SDS-ONE APEX4)
- ・ デザインシステムにAIを導入し、デザイン制作をサポート(SDS-ONE APEX4)
- ・ 糸のプラットフォーム(デジタル)化を進め、シミュレーション、商品企画の効率化(yarnbank)
- ・ PLM(プロダクトライフサイクルマネジメント)で生産最適化を実現(Shima Knit PLM)

MADE 2 FIT™
WITH WHOLEGARMENT®

yarnbank™

Shima KnitPLM®



WHOLEGARMENT®

世の中のニット化～ *KNITify the World™* Smart Solutions in Textiles ～

横編みニットの特性である「素材から形をつくる」は大量生産型のモノづくりからの脱却、個性化の時代に対応します。

横編み技術をファッションの枠にとどめず、多彩な分野にひろげ、需要の拡大を目指します。



立体編成技術



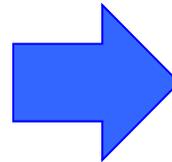
インレイ(横糸挿入)編成技術



ナイロンモノフィラメント



炭素繊維プリフォーム



スポーツ、インテリア、産業資材、
メディカル、ウェアラブル、自動車、航空宇宙

トピックス～新型コロナウイルス対策支援～

ニット製マスクの編成データ公開

3月19日 ニット製「ホールガーメント・マスク」編成データをユーザーサイトで公開

3月25日 ニット製マスク編成データの追加提供

世界各地のユーザーから**300以上**のダウンロード実績

新型コロナウイルス感染拡大防止の支援のため
和歌山県下の小中学生向け予備用のニットマスク生産協力



ホールガーメント横編機
(通称:ホールガーメントミニ)



N.SVR SPシリーズ



ホールガーメントのメリット

ホールガーメント製品の特長



肩
立体的に編成することで、肩のラインが体にフィットし、自然な着心地が得られます。



身頃
前身頃と後身頃をつなぐ縫い目が無く、シルエットがすっきりとします。また、複数の接ぎから成る型紙と、ダーツなどを編みこむことによる立体成型で、綺麗に流れるドレープが表現できます。



ネックライン
編み込まれたネックラインや衿元により、上品で洗練された製品に仕上がります。



脇
脇には縫い目がなく、従来のニットウェアのごわつき感が解消されます。

ホールガーメントタグ

店頭では、商品につけられているタグを目印に、あなたのホールガーメントをお探しください。

*ブランドや商品によりタグが異なる場合があります。



SHIMA SEIKI

本資料に記載されている当社の計画および業績の見通し、戦略などは、発表日時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な要因により大きく異なる可能性がありますことを、予めご承知おきください。